

中央図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和 63年(36年)	8,288.27㎡		4,788.00㎡	9,933.77㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
弦巻3-16-8	RC造	(地上/地下) 3/2	生涯学習部事務室、区史編さん担当事務室、学びの多様な学校(不登校特例校)分教室、中央図書館プラネタリウム				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19/25m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	859,288	829,862	29,426	104
	物件費等	327,415	318,848	8,567	103
	物件費	323,597	315,836	7,761	
	うち光熱水費	34,368	43,854	▲ 9,486	
	うち委託料	179,569	165,358	14,211	
	うち土地建物設備賃借料	1,404	1,325	79	
	維持補修費	3,044	2,571	473	
	扶助費・補助費等	774	441	333	
	減価償却費	74,967	74,967	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	456,906	436,047	20,859	
	投資的経費	42,008	0	42,008	
	総収入	3,638	4,490	▲ 852	
収入	使用料・手数料	40	0	40	
	その他	3,598	4,490	▲ 892	
建物情報	建物取得価額	4,006,823			
	建物減価償却累計額	3,175,070			
	建物残存価額	831,753			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	152,433千円	光熱水費	34,368千円(電気料 23,066千円)
----------	-----------	------	------------------------

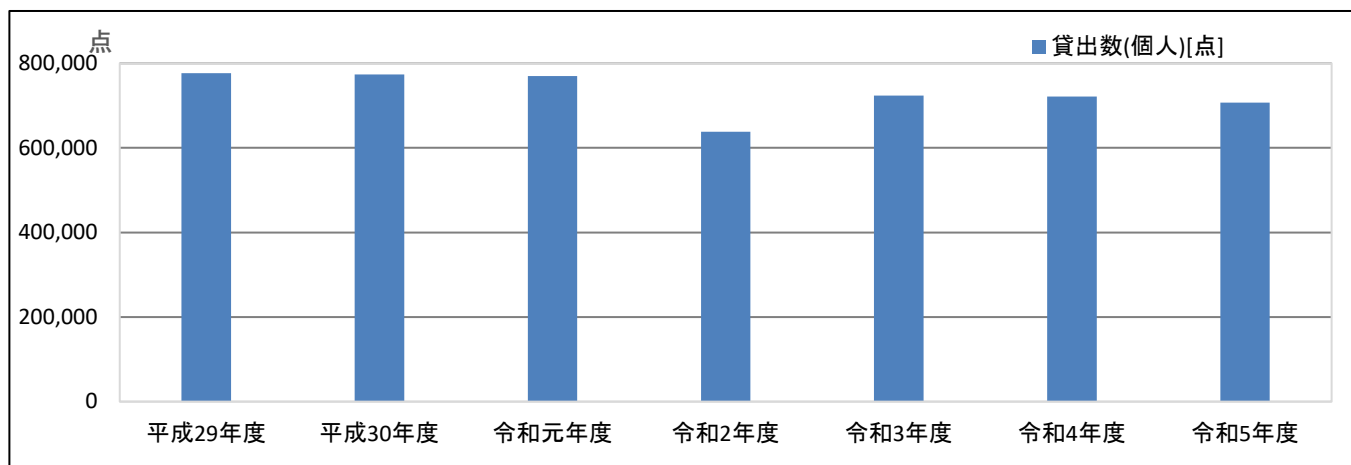
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和35年〕
	計画改修費	15.0億円
	物件費等の積算額	23.9億円
	物件費等の積算額	32.3億円
	合計	96.9億円
		47.3億円
		120.8億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	776,602	773,457	769,648	638,094	723,502	721,116	706,680



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	706,680	356,430
m ² あたり総コスト	103.68	140.82
1点あたり総コスト	1.22	0.58
m ² あたり物件費等	39.50	64.47
1点あたり物件費等	0.46	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-21.63	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは29,426千円増加。

【施設間比較】

1点あたりの総コストが図書館の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

- ・施設設備の経年劣化や物価高騰等により、物件費等が増加した。
- ・人件費増については職員数に大きな変化がないことから、中央図書館単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

【施設間比較】

- ・施設の規模が図書館の中で一番大きく、総コストが高いため、同施設分類で比較すると1点あたりの総コストが割高になっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

- ・光熱水費は前年度比でマイナスとなっており、引き続き節電節水など省エネルギーに努める。
- ・令和7年度より、開館時間を1時間早め、9時開館とするが、業務オペレーションを工夫し、人件費の抑制に努める。

世田谷図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 28年(8年)	965.65㎡		4,104.92㎡	1,699.73㎡	区所有	委託	(株)図書館流通センター
住所	構造	階数	複合施設名称				
若林4-22-13	RC造	(地上/地下) 6/1	世田谷保健福祉センター(健康づくり課分室)				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第二種住居地域	60	300	31m第三種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
その他	世田谷区役所周辺地区防災街区整備地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	137,861	137,465	396	100
	物件費等	88,874	89,377	▲ 503	99
	物件費	88,874	88,478	396	
	うち光熱水費	3,419	3,929	▲ 510	
	うち委託料	69,261	69,309	▲ 48	
	うち土地建物設備賃借料	2,795	2,766	29	
	維持補修費	0	899	▲ 899	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	11,800	11,800	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	37,187	36,288	899	
	投資的経費	0	0	0	
	総収入	193	172	21	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	193	172	21	
建物情報	建物取得価額	587,597			
	建物減価償却累計額	82,264			
	建物残存価額	505,333			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

図書館業務一部委託	64,218千円	光熱水費	3,419千円(電気料 3,419千円)	土地建物賃貸料	2,560千円
-----------	----------	------	----------------------	---------	---------

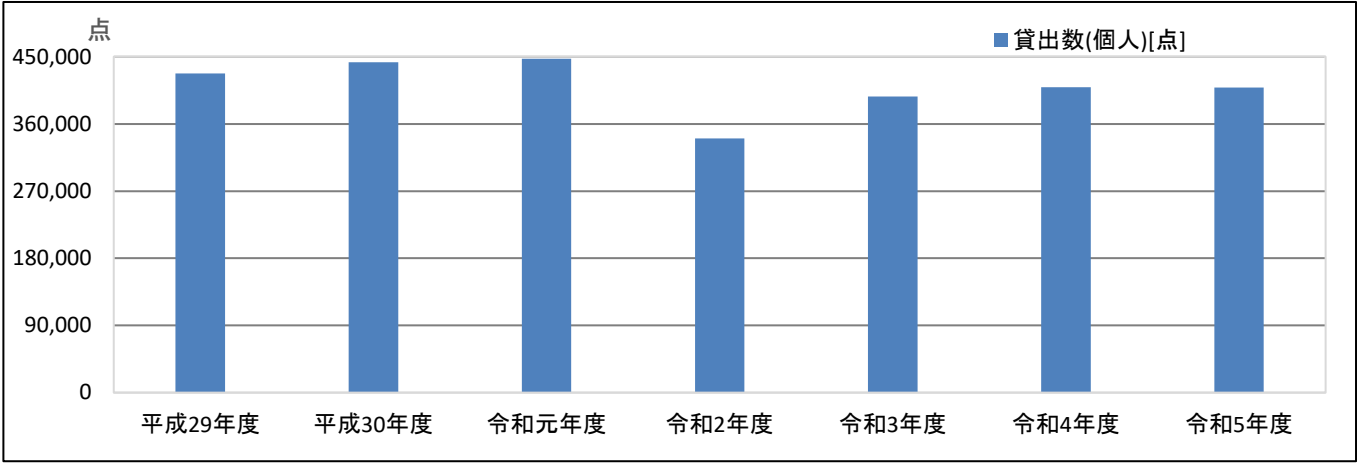
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和63年〕
	計画改修費	0.9億円
	物件費等の積算額	8.9億円
	合計	9.8億円
		54.5億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]		427,693	442,481	447,520	340,635	396,982	409,273	408,638



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	408,638	356,430
m ² あたり総コスト	142.77	140.82
1点あたり総コスト	0.34	0.58
m ² あたり物件費等	92.04	64.47
1点あたり物件費等	0.22	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-12.98	-

◆ 施設の分析・考察

【施設間比較】

m²あたりの物件費等が施設種別平均より1.4倍以上高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【施設間比較】

・物件費等の増加要因は、他館との運営実態の相違や、当館が国・都・区の区分所有で、大規模施設であるところによる。国主導の施設管理のもとでの按分負担では随時の補修支出が建築物の経年劣化によって増加傾向にあり、合同庁舎の共用部分では膨大な利用者数(税務署・法務局もある)もあるため、区民センター内の他館などに比べると物件費等は割高になっている。

・コストパフォーマンスの計量では、開館運営時間数の各館相違も考慮内となる。(閉館時刻や休館ある頻度が各館で相違している)

・世田谷図書館は月1回休館で原則午後9時閉館という、全館中もつとも長時間開館をしており、全館開館時間総量で割返すと全館平均値よりも22%以上稼働時間数(開館サービス提供時間)が多い。

・貸出数では平均の115%の実績を上げ、図書館ビジョンにもとづく課題事業や子育て支援行事の各種においても概ね他館に比して3～5割前後多い区民参加を得ているなど、上覧の施設間比較で用いる尺度だけでは判じきれないコスパ実績をあげている。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・物件費等については、引き続き図書館サービスの質を向上させてコストパフォーマンスを上げながら、説明性を十分に備えた数値となるよう適正な予算管理を行う。

・光熱水費の節減管理は今後とも徹底し、合同庁舎全体の施設経費についても協議体の中で計画性と精査を今後とも求めていく。

・図書館業務の一部委託については、公正なコスト比較も踏まえた事業者選定を行っている。引き続き公契約条例を順守しながらコスト管理を適切に図っていく。

砧図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 6年(30年)	2,298.85㎡		1,207.66㎡	2,298.85㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
祖師谷3-10-4	RC造	(地上/地下) 2/1	—				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	244,208	234,821	9,387	104
	物件費等	73,041	75,286	▲ 2,245	97
	物件費	71,931	73,966	▲ 2,035	
	うち光熱水費	6,514	8,077	▲ 1,563	
	うち委託料	49,482	50,879	▲ 1,397	
	うち土地建物設備賃借料	391	331	60	
	維持補修費	1,110	1,320	▲ 210	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	20,959	20,959	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	150,208	138,576	11,632	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	828	836	▲ 8	
	使用料・手数料	25	21	4	
	その他	803	815	▲ 12	
建物情報	建物取得価額	1,047,940			
	建物減価償却累計額	628,764			
	建物残存価額	419,176			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	48,260千円	光熱水費	6,514千円(電気料 3,397千円)
----------	----------	------	----------------------

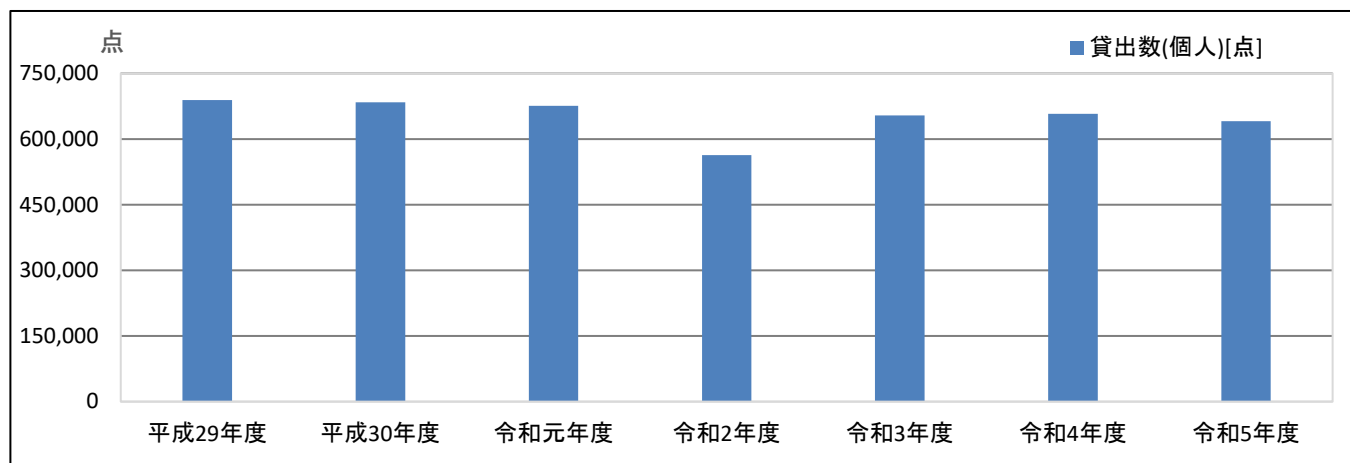
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

		10年間	築65年まで 〔令和41年〕
試算	計画改修費	2.9億円	7.6億円
	物件費等の積算額	7.4億円	26.7億円
	合計	10.3億円	34.3億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	688,798	683,971	675,435	563,185	653,830	657,862	640,502



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	640,502	356,430
m ² あたり総コスト	106.23	140.82
1点あたり総コスト	0.38	0.58
m ² あたり物件費等	31.77	64.47
1点あたり物件費等	0.11	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-19.35	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは9,387千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・人件費増については職員数に大きな変化がないことから、砧図書館単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・引き続き、事務改善を図りながら光熱水費や委託料の抑制等物件費の削減に努め、効率的な運営に取り組む。
・館内環境の改善を図るため、wifi設備の見直し等を検討するとともに、計画的な修繕等施設環境の維持を図り、快適な利用に繋がるように図書館サービスの充実に向けて取り組んでいく。

玉川台図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和 48年(51年)	743.17㎡		1,738.70㎡	2,924.67㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
玉川台1-6-15	RC造	(地上/地下) 3/1	玉川台区民センター、玉川台児童館				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第二種低層住居専用地域	60	150	第一種高度地区	準防火地域	5h-3h 1.5m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	143,708	117,808	25,900	122
	物件費等	33,044	31,166	1,878	106
	物件費	32,542	30,849	1,693	
	うち光熱水費	2,943	3,747	▲ 804	
	うち委託料	15,679	14,387	1,292	
	うち土地建物設備賃借料	160	129	31	
	維持補修費	502	317	185	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	0	1,822	▲ 1,822	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	110,664	84,820	25,844	
	投資的経費	1,677	8,798	▲ 7,121	
	総収入	74	87	▲ 13	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	74	87	▲ 13	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	15,140千円	光熱水費	2,943千円(水道料 2,696千円)
----------	----------	------	----------------------

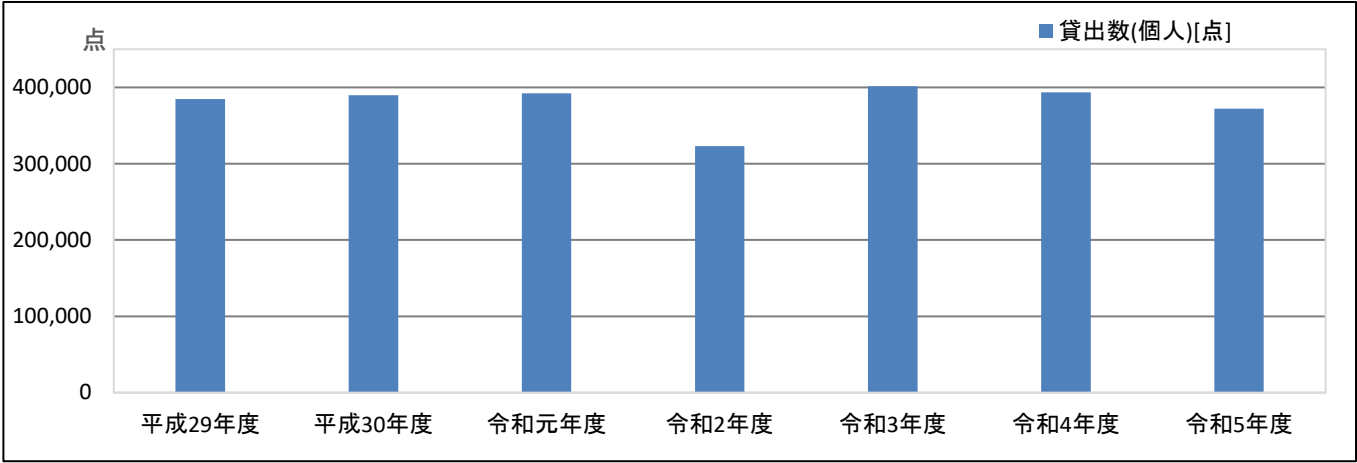
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

		10年間	築65年まで 〔令和20年〕
試算	計画改修費	0.2億円	0.2億円
	物件費等の積算額	3.2億円	4.8億円
	合計	3.4億円	5.0億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	384,896	389,706	392,456	323,209	401,416	393,524	372,032



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	372,032	356,430
m ² あたり総コスト	193.37	140.82
1点あたり総コスト	0.39	0.58
m ² あたり物件費等	44.46	64.47
1点あたり物件費等	0.09	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-21.46	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは25,900千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・人件費の増加については、全庁的な増加に加え、非常勤職員3名増が影響していると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・光熱水費は前年度比でマイナスとなっており、引き続き節電節水など省エネルギーに努める。
・令和7年度9月から中長期保全計画工事が始まり、予約のみの対応となるため、貸出数は大幅に減少する見込みであるが、引き続き適正な施設管理に努める。

代田図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 26年(10年)	1,181.86㎡		1,196.34㎡	3,663.56㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
代田6-34-13	SRC造	(地上/地下) 6/2	新代田自転車等駐車場、代田区民センター、代田児童館				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
近隣商業地域	80	300	第三種高度地区	防火地域	5h-3h 4m
第一種低層住居専用地域	50	150	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	177,327	160,835	16,492	110
	物件費等	49,072	46,084	2,988	106
	物件費	49,050	46,084	2,966	
	うち光熱水費	3,679	4,497	▲ 818	
	うち委託料	31,956	29,170	2,786	
	うち土地建物設備賃借料	171	129	42	
	維持補修費	22	0	22	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	8,113	8,113	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	120,142	106,638	13,504	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	96	70	26	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	96	70	26	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理運営業務委託	31,013千円	光熱水費	3,679千円(電気料 1,849千円)
------------	----------	------	----------------------

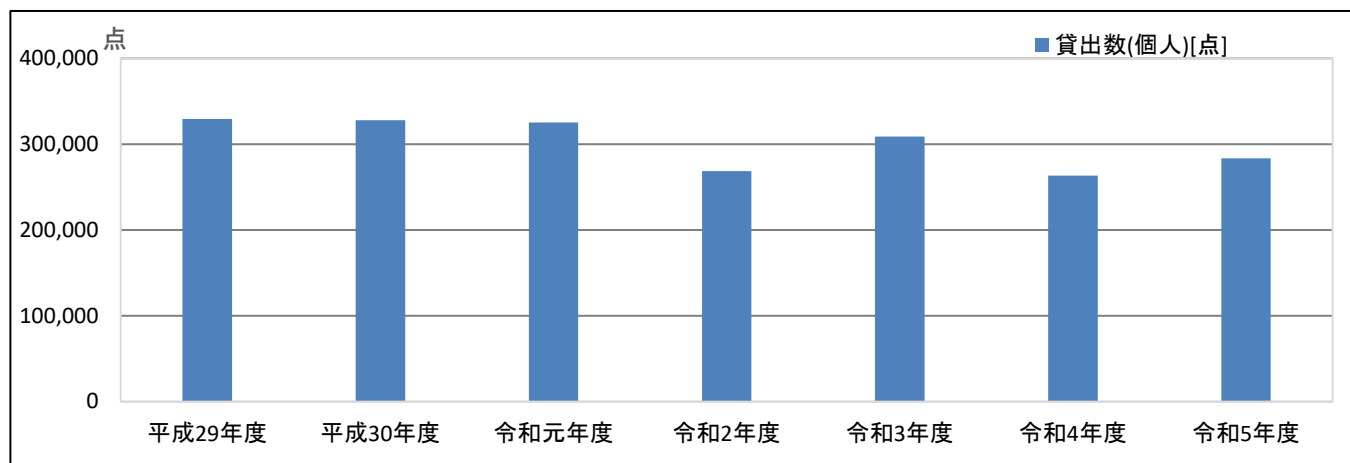
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和61年〕
	計画改修費	1.6億円
	物件費等の積算額	4.8億円
	合計	6.4億円
		33.3億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	329,440	327,905	325,188	268,664	308,951	263,385	283,601



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	283,601	356,430
m ² あたり総コスト	150.04	140.82
1点あたり総コスト	0.63	0.58
m ² あたり物件費等	41.52	64.47
1点あたり物件費等	0.17	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-18.19	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは16,492千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

- ・委託料増要因は、代田区民センター維持管理運営業務委託の費用増に伴うものである。また、人件費増については職員数に大きな変化がないことから、代田図書館単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。
- ・令和6年度に代田区民センター改築10年を迎え、今後修繕費等の維持コスト増加が見込まれる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

- ・令和3年度末に図書館カウンター下北沢が開館したことから、主に北沢・代沢在住の利用者はより近い図書館カウンター下北沢の利用に移っているとみられる。当館は図書館カウンター下北沢を管理する立場から、今後も同カウンターの円滑な運営のため支援に注力する。
- ・隣館である梅丘図書館の改築工事休館に伴い、同館の利用者も多数、開架書架がある当館を利用している。しかし、令和7年度の梅丘図書館再開に伴い利用者減少が見込まれることから、梅丘図書館とは異なる独自性、特徴を出すよう取り組む。

烏山図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和 54年(45年)	1,276.50㎡		2,465.74㎡	6,128.25㎡	区所有	指定管理	(株)ヴィアックス
住所	構造	階数	複合施設名称				
南烏山6-2-19	SRC造	(地上/地下) 5/1	烏山まちづくりセンター、烏山あんしんすこやかセンター、烏山出張所、烏山区民センター、烏山区民会館				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
商業地域	80	500	—	防火地域	—
その他	千歳烏山駅周辺地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	180,108	176,488	3,620	102
	物件費等	162,181	159,290	2,891	102
	物件費	162,046	159,290	2,756	
	うち光熱水費	5,347	6,913	▲ 1,566	
	うち委託料	145,223	141,299	3,924	
	うち土地建物設備賃借料	21	84	▲ 63	
	維持補修費	135	0	135	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	8,848	8,848	0	
	その他	46	72	▲ 26	
	(配賦)人件費	9,033	8,278	755	
	投資的経費	0	0	0	
	総収入	255	0	255	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	255	0	255	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

指定管理料	99,949千円	光熱水費	5,347千円(電気料 3,394千円)	維持管理委託	44,724千円
-------	----------	------	----------------------	--------	----------

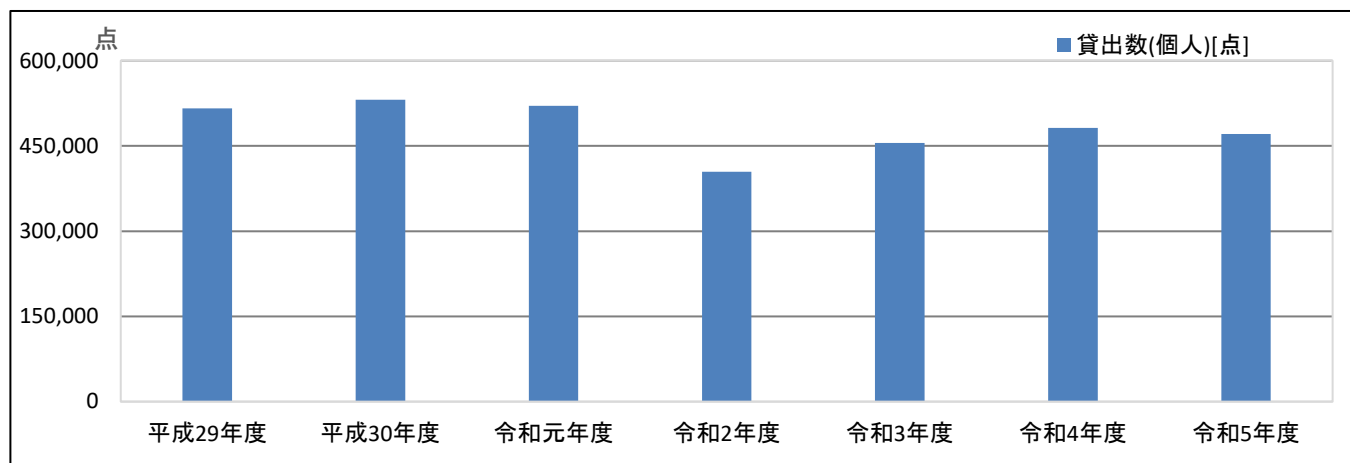
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和26年〕
	計画改修費	1.5億円
	物件費等の積算額	2.1億円
	物件費等の積算額	16.1億円
	合計	33.8億円
	合計	17.6億円
	合計	35.9億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]		516,228	531,487	520,898	404,470	455,408	481,794	471,197



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	471,197	356,430
m ² あたり総コスト	141.09	140.82
1点あたり総コスト	0.38	0.58
m ² あたり物件費等	127.05	64.47
1点あたり物件費等	0.34	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-22.65	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは3,620千円増加。

【施設間比較】

m²あたりの物件費等が施設種別平均より1.9倍以上高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

- ・労働報酬下限額の改定により、委託料が増加した。
- ・他の施設と異なり、指定管理料の中の人件費分が物件費に含まれている。

【利用状況】

- ・令和4年度より、指定管理者制度による図書館運営を行っており、㈱ヴィアックスに委託している。
- ・商店街や京王線千歳烏山駅より徒歩2分という立地もあり、来館者数が区立図書館の中で3番目に多く全年代が広く利用している施設である。
- ・令和4年度から開館時間を拡大し、閲覧席の増設やテーマ展示の工夫、指定管理者のノウハウを活かした図書館サービスの実施などを行い、利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。
- ・区民センター内にあるため区民センター管理者と協力して日々の運営を行い、また、区民センター内の他事業者と情報交換を行う等、連携を取りながら事業に活かしている。

【施設間比較】

- ・開館時間の拡大や利用者数の多さなどにより、同施設分類で比較するとm²あたりの物件費等が高くなっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

- ・引き続き、利用者の要望やニーズを的確に把握し、図書館サービスの充実に向けて取り組んでいく。
- ・地域連携事業を広げ、館内環境の整備を行い、利用者の目線に立った図書館運営に取り組んでいく。

下馬図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和 55年(44年)	1,092.05㎡		18,833.78㎡	1,092.05㎡	区所有	指定管理	世田谷TRC・東急コミュニティグループ
住所	構造	階数	複合施設名称				
下馬2-32-1	RC造	(地上/地下) 3/1	—				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	都営下馬アパート周辺地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	143,895	139,342	4,553	103
	物件費等	128,330	124,532	3,798	103
	物件費	128,330	124,532	3,798	
	うち光熱水費	0	1	▲ 1	
	うち委託料	117,890	115,013	2,877	
	うち土地建物設備賃借料	57	122	▲ 65	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	6,120	6,120	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	9,445	8,690	755	
	投資的経費	0	0	0	
	総収入	139	0	139	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	139	0	139	
建物情報	建物取得価額	306,717			
	建物減価償却累計額	269,997			
	建物残存価額	36,720			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

指定管理料	117,890千円
-------	-----------

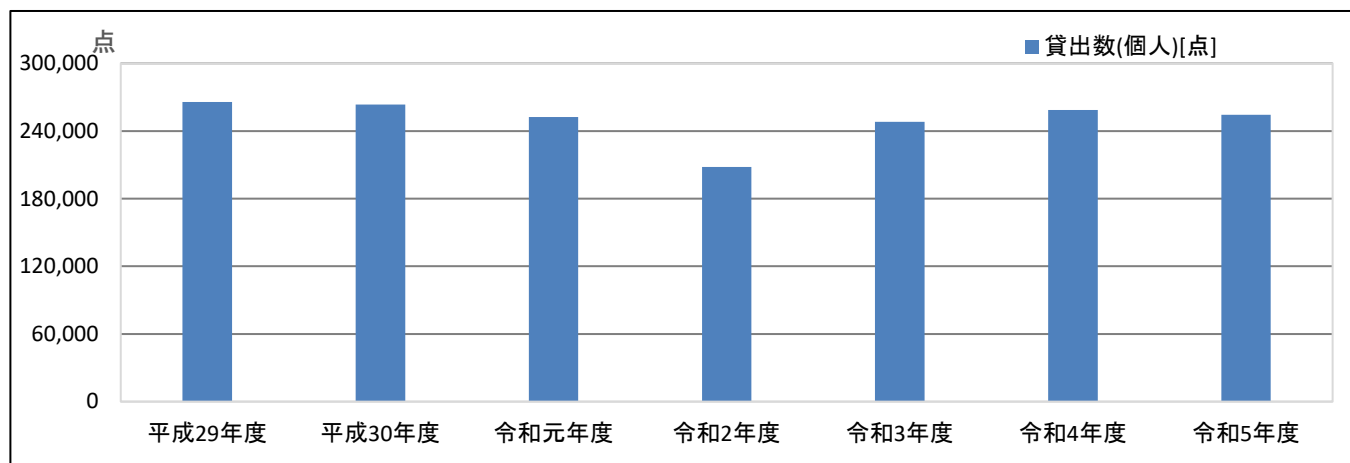
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和27年〕
	計画改修費	1.8億円
	物件費等の積算額	27.8億円
	合計	30.2億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]		265,678	263,294	252,285	208,110	248,162	258,682	254,278



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	254,278	356,430
m ² あたり総コスト	131.77	140.82
1点あたり総コスト	0.57	0.58
m ² あたり物件費等	117.51	64.47
1点あたり物件費等	0.50	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-100.00	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは4,553千円増加。

【施設間比較】

m²、1点あたりの物件費等が施設種別平均より1.8倍以上高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

- ・労働報酬下限額の改定により、委託料が増加した。
- ・他の施設と異なり、指定管理料の中の人件費分が物件費に含まれている。

【利用状況】

- ・令和4年度より、指定管理者制度による図書館運営を行っており、世田谷TRC・東急コミュニティグループに委託している。
- ・こどものひろば公園内で、近隣に都営下馬アパート、世田谷公園、都立青鳥特別支援学校等があり、多世代の多様な方が利用しやすい環境にある。
- ・区立図書館の中で占有面積が3番目に大きい図書館(改築中の梅丘図書館を除く)であり、図書館単独の施設である。
- ・令和4年度から開館日・時間を拡大(月曜日開館・開館時間は全日19時まで)し、昭和女子大学や平和資料館との連携など指定管理者によるノウハウを生かした様々な地域連携事業を展開している。

【施設間比較】

- ・様々な地域連携事業を展開して図書館サービスを充実させているため、同施設分類で比較するとm²、1点あたりの物件費等が高くなっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

- ・引き続き、利用者の要望やニーズを的確に把握し、図書館サービスの充実に向けて取り組んでいく。
- ・地域連携事業の継続実施や充実、占有面積が比較的大きく図書館単独施設であることを活かした館内環境の整備など、特色ある図書館運営に取り組んでいく。

深沢図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和 56年(43年)	679.59㎡	1,987.15㎡	2,517.05㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称			
深沢4-33-11	RC造	(地上/地下) 2/1	深沢区民センター、深沢児童館			





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
近隣商業地域	80	300	31m第三種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	128,668	117,460	11,208	110
	物件費等	36,262	34,905	1,357	104
	物件費	35,694	34,256	1,438	
	うち光熱水費	3,609	4,399	▲ 790	
	うち委託料	20,058	18,486	1,572	
	うち土地建物設備賃借料	160	129	31	
	維持補修費	568	649	▲ 81	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	4,446	4,446	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	87,960	78,109	9,851	
	投資的経費	3,499	5,266	▲ 1,767	
収入	総収入	114	126	▲ 12	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	114	126	▲ 12	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	19,821千円	光熱水費	3,609千円(水道料 1,684千円)
----------	----------	------	----------------------

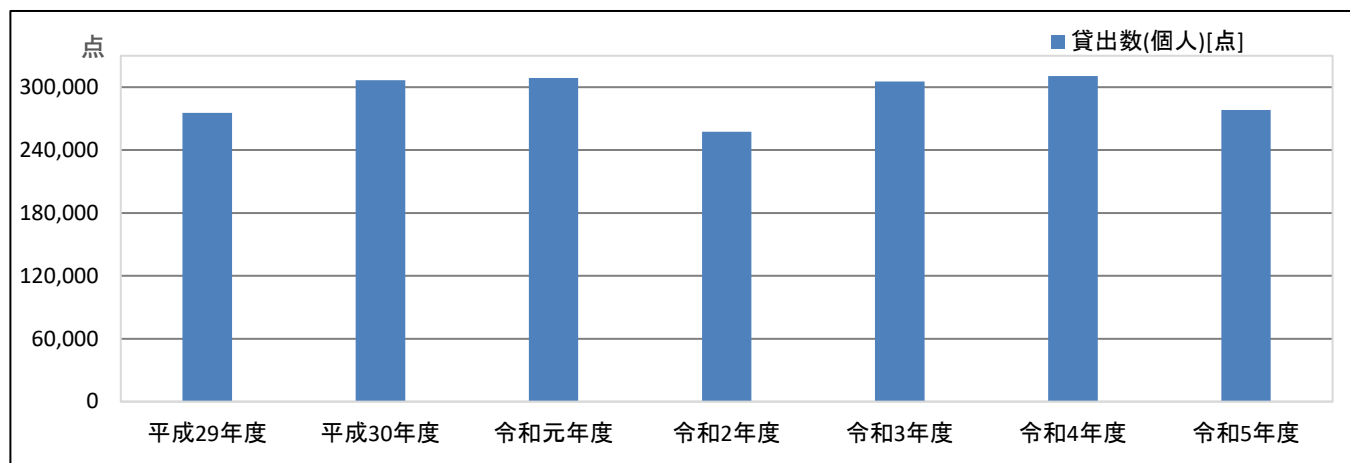
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和28年〕
	計画改修費	0.8億円
	物件費等の積算額	3.6億円
	合計	4.4億円
		9.4億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	275,415	306,574	308,855	257,576	305,410	310,595	278,260



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	278,260	356,430
m ² あたり総コスト	189.33	140.82
1点あたり総コスト	0.46	0.58
m ² あたり物件費等	53.36	64.47
1点あたり物件費等	0.13	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-17.96	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは11,208千円増加。

【利用状況】

貸出数が前年度の約9割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・人件費増については職員数に大きな変化がないことから、深沢図書館単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

【利用状況】

・コロナ禍による巣ごもり需要の反動と、システム入替による年末年始の休館により貸出数が減少している。特に深沢図書館は、予約しないで書架にある本を借りる利用が多い児童書の減少が特に大きかったので、休館期間が冬休みにぶつかった影響も大きかったと考える。

【施設間比較】

・図書館の中では専有面積が小さいため、同施設分類で比較するとm²あたりの総コストが割高になっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・駅から離れており、直近の公共交通機関はバスのみであるため、利用者は地元の住民が多い。図書館は区民センター・児童館が併設されており、合同イベント等を通じて、普段図書館を利用しない層に働きかけ、新たな利用者を獲得していく必要がある。

・出張おはなし会や小学校見学の受入などを通じて、近隣の子どもの新たな図書館利用のきっかけを増やしていきたい。

・利用者が知識を得てより豊かな生活を過ごせるようにしていくために、小規模施設ではあるが、魅力ある蔵書をバランスよく収集していきたい。

桜丘図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和 59年(40年)	926.95㎡	2,255.46㎡	3,006.24㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称			
桜丘5-14-1	RC造	(地上/地下) 2/1	桜丘区民センター、桜丘児童館			





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	148,400	131,048	17,352	113
	物件費等	33,932	34,400	▲ 468	99
	物件費	33,932	34,136	▲ 204	
	うち光熱水費	322	2,936	▲ 2,614	
	うち委託料	19,721	18,183	1,538	
	うち土地建物設備賃借料	160	129	31	
	維持補修費	0	264	▲ 264	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	5,929	5,929	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	108,539	90,719	17,820	
	投資的経費	0	10,087	▲ 10,087	
	総収入	84	76	8	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	84	76	8	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	19,352千円	光熱水費	322千円(水道料 308千円)
----------	----------	------	------------------

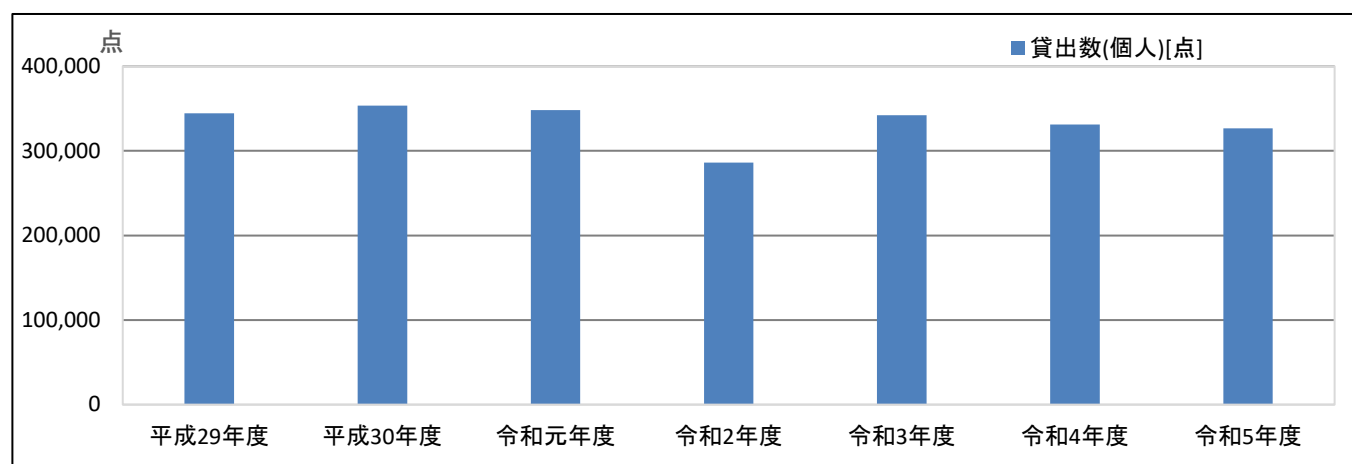
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

		10年間	築65年まで 〔令和31年〕
試算	計画改修費	1.1億円	1.6億円
	物件費等の積算額	3.4億円	8.9億円
	合計	4.5億円	10.5億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]		344,565	353,449	348,110	286,236	341,984	331,285	326,676



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	326,676	356,430
m ² あたり総コスト	160.10	140.82
1点あたり総コスト	0.45	0.58
m ² あたり物件費等	36.61	64.47
1点あたり物件費等	0.10	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-89.03	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは17,352千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・平成26年に図書館が入っている区民センターの大規模改修が行われたため、施設・設備の不具合はほぼなく、修繕補修費等のコストが抑えられている。
・人件費増については職員数に大きな変化がないことから、桜丘図書館単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

【利用状況】

・コロナ以降、図書館の価値が見直され、貸出が増えた。5類移行後はやや落ち着いた感じであるが、高齢者と同じくらい家族での利用が多く、絵本の大量貸出が目につく。

【施設間比較】

・図書館の施設専有面積が小さいため、同施設分類で比較するとm²あたりの総コストが割高になっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・近隣住民の利用が大半を占めるので、利用ニーズの把握に努め、利用を促進していきたい。
・数年前より地域活動グループ(経堂地区認知症アクションチーム)との連携を行っているので、このような活動を広げていきたい。

尾山台図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和 63年(36年)	1,304.36㎡		844.11㎡	2,055.81㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
等々力2-17-14	RC造	(地上/地下) 3/1	尾山台地区会館				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
近隣商業地域	80	300	第三種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	189,741	167,320	22,421	113
	物件費等	57,465	54,715	2,750	105
	物件費	57,213	54,068	3,145	
	うち光熱水費	4,041	4,923	▲ 882	
	うち委託料	39,165	36,149	3,016	
	うち土地建物設備賃借料	160	129	31	
	維持補修費	252	647	▲ 395	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	7,790	7,790	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	124,486	104,815	19,671	
	投資的経費	1,867	1,753	114	
収入	総収入	205	208	▲ 3	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	205	208	▲ 3	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	38,357千円	光熱水費	4,041千円(電気料 3,380千円)
----------	----------	------	----------------------

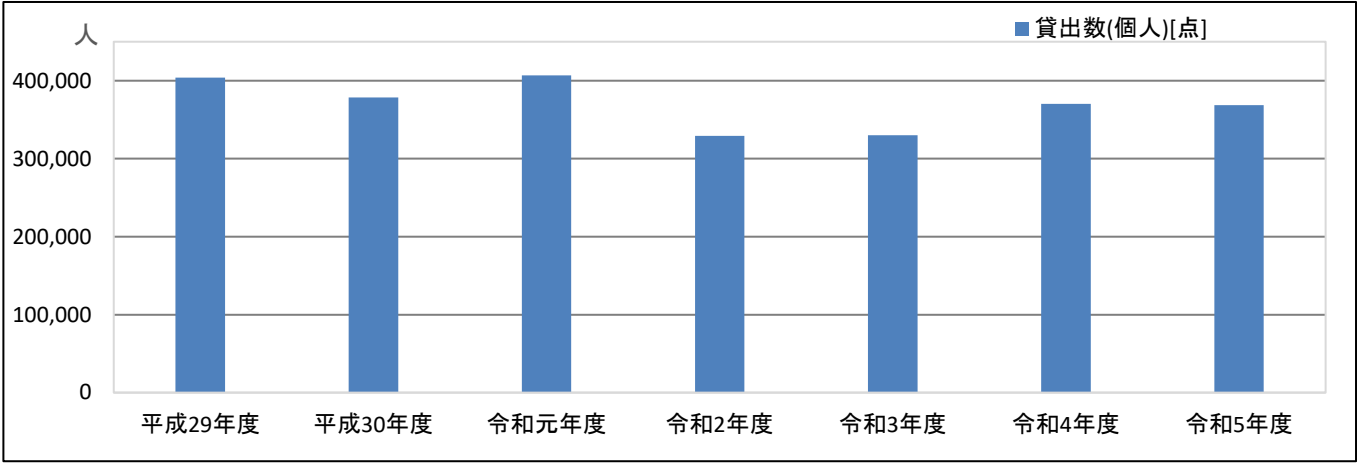
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和35年〕
	計画改修費	0.4億円
	物件費等の積算額	5.6億円
	合計	6.0億円
		20.4億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	404,051	378,480	406,883	329,367	330,285	370,411	368,577



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	368,577	356,430
m ² あたり総コスト	145.47	140.82
1点あたり総コスト	0.51	0.58
m ² あたり物件費等	44.06	64.47
1点あたり物件費等	0.16	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-17.92	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは22,421千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

- ・多用途での複合施設のため常駐管理が必要となり、維持管理委託料が割高となっている。
- ・人件費増については職員数に大きな変化がないことから、尾山台図書館単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

【利用状況】

- ・サービス公社に管理を委託しており、利用者の8割が地域住民の利用であり、ファミリー層を中心とした近隣住民の場として利用されてきた施設である。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

- ・図書館の利用者には高齢者も多いことから、高齢者を対象にした講演会などの事業も行っていく。
- ・引き続き、時勢に応じた蔵書の入れ替えを進め、魅力ある図書館となるよう取り組む。

上北沢図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 1年(35年)	1,058.72㎡		2,129.48㎡	3,139.16㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
上北沢3-8-9	RC造	(地上/地下) 2/1	上北沢区民センター、上北沢児童館				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	151,311	148,475	2,836	102
	物件費等	45,882	44,605	1,277	103
	物件費	45,285	44,492	793	
	うち光熱水費	4,733	6,369	▲ 1,636	
	うち委託料	27,281	25,673	1,608	
	うち土地建物設備賃借料	160	129	31	
	維持補修費	597	113	484	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	8,228	8,228	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	97,201	95,642	1,559	
	投資的経費	10,441	0	10,441	
収入	総収入	121	140	▲ 19	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	121	140	▲ 19	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	26,560千円	光熱水費	4,733千円(電気料 3,055千円)
----------	----------	------	----------------------

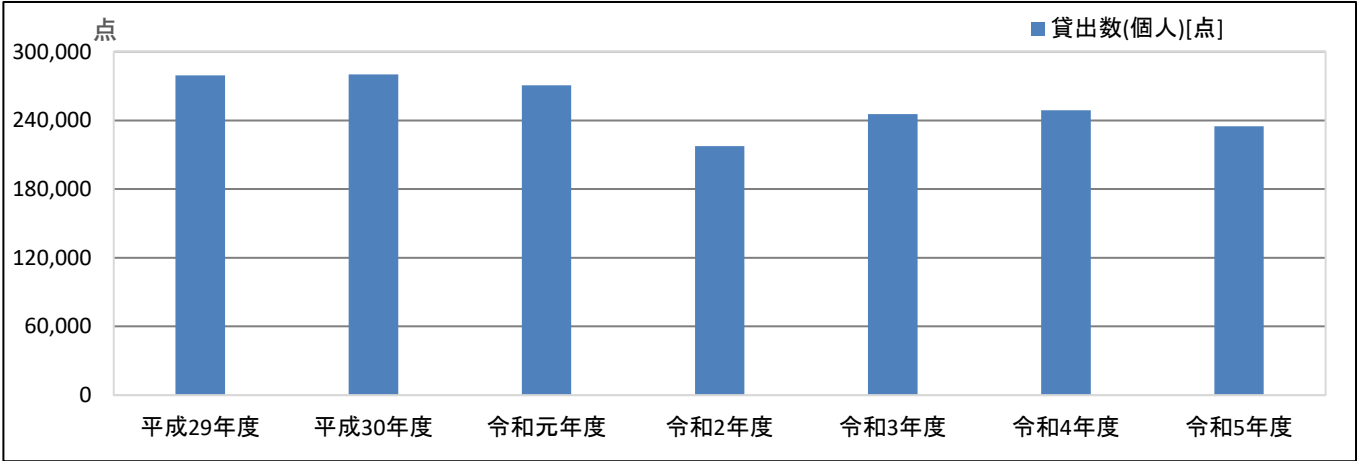
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

		10年間	築65年まで 〔令和36年〕
試算	計画改修費	1.3億円	3.7億円
	物件費等の積算額	4.5億円	14.0億円
	合計	5.8億円	17.7億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	279,255	280,119	270,718	217,579	245,667	248,812	234,972



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	234,972	356,430
m ² あたり総コスト	142.92	140.82
1点あたり総コスト	0.64	0.58
m ² あたり物件費等	43.34	64.47
1点あたり物件費等	0.20	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-25.69	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは2,836千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・人件費増については職員数に大きな変化がないことから、上北沢図書館単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・利用者にとって居心地の良い環境づくりを目指し、閲覧場所等を検討していく。
・令和6年度に発生した雨漏りに伴う天井補修工事を実施した。原因不明のため、今後は原因追究・解決に向けて取り組んでいく。
・光熱水費削減を維持できるよう、引き続き節電等など省エネルギーに努める。

粕谷図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 10年(26年)	1,340.32㎡		2,232.67㎡	3,343.30㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
粕谷4-13-6	RC造	(地上/地下) 3/1	粕谷区民センター、粕谷児童館、喫茶ぴあ粕谷店				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	60	150	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
近隣商業地域	80	300	28m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	161,559	140,585	20,974	115
	物件費等	53,447	53,568	▲ 121	100
	物件費	53,080	52,726	354	
	うち光熱水費	6,085	8,249	▲ 2,164	
	うち委託料	33,156	31,938	1,218	
	うち土地建物設備賃借料	160	129	31	
	維持補修費	367	842	▲ 475	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	11,134	11,134	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	96,978	75,883	21,095	
	投資的経費	13,283	0	13,283	
	総収入	94	98	▲ 4	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	94	98	▲ 4	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	31,844千円	光熱水費	6,085千円(電気料 3,314千円)
----------	----------	------	----------------------

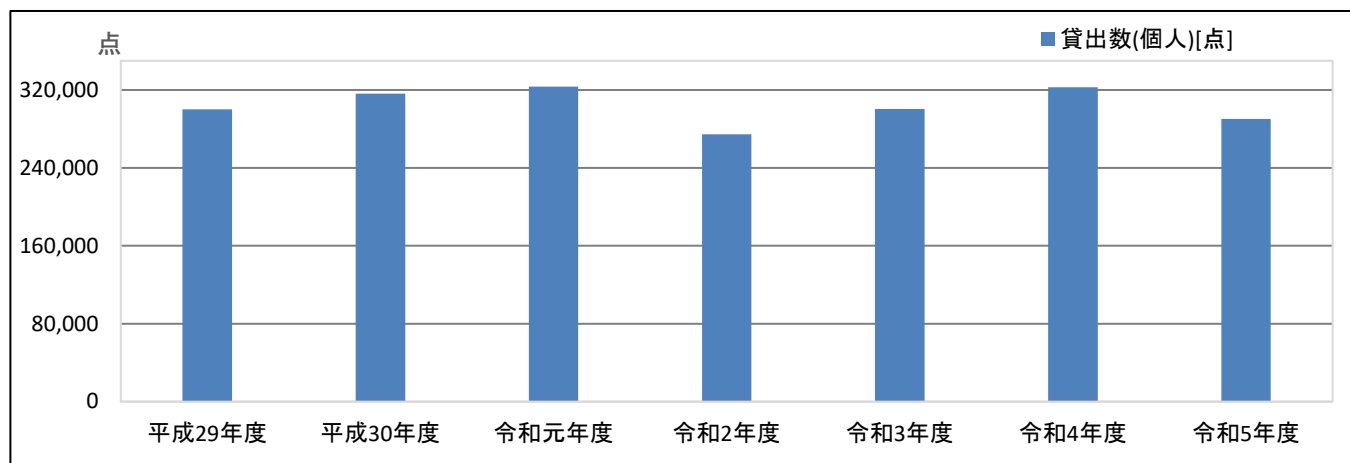
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和45年〕
	計画改修費	1.6億円
	物件費等の積算額	5.4億円
	合計	7.0億円
		25.0億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]		300,178	316,386	323,427	274,557	300,611	322,925	290,400



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	290,400	356,430
m ² あたり総コスト	120.54	140.82
1点あたり総コスト	0.56	0.58
m ² あたり物件費等	39.88	64.47
1点あたり物件費等	0.18	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-26.23	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは20,974千円増加。

【利用状況】

貸出数が前年度の約9割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

人件費の増加については、全庁的な増加に加え、令和4年度に欠員だった常勤職員1名の補充による。

・光熱水費の減少は空調機2台のうち1台が故障し運転できなかったことによる。

・委託料の増加は空調機の修理費である。

【利用状況】

図書館全体の貸出冊数も前年度比6.7%減少する中、当館の減少率はやや多い。過去5年間の平均貸出冊数と令和5年度の貸出冊数を比較すると、図書館全体で3.8%減少に対し当館は4.1%減少とほぼ同水準である。令和5年度の対前年比の減少率が大きく見えるのは、令和4年度の貸出冊数が、新型コロナウイルス感染症対策(外出抑制)の緩和により一時的に貸出冊数が増加した結果、令和5年度の貸出冊数が平常水準に戻った結果と考えられる。また、貸出本の内訳では、児童書が図書館全体で前年度比8.1%減少に対し、当館は12.7%減少と減少率がやや大きい。当館は児童館と隣接しており、隣接児童館の利用者数は令和4年度161百人から令和5年度227百人と41%の大幅増となっている。推測であるが、子ども達の行動が読書(1人行動)から児童館等での遊び(集団行動)への移行の影響も少なからずあると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・子ども達のIT機器を利用した情報取得が増える中、相対的に図書館利用が減少することは、情報取得手段の多様化であり必ずしも悪いことではない。一方で、図書館資料には内容の正確性、情報の体系的記述等、図書ならではの長所がある。子ども達に本の面白さ、知識を得て自分が成長する楽しさ等を伝える努力を継続していく。(本のPOP紹介や季節の催事に因んだ本の紹介、おはなし会、科学講座等、本の面白さを伝える企画を実施)

鎌田図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 10年(26年)	1,523.77㎡		3,170.57㎡	4,562.75㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
鎌田3-35-1	RC造	(地上/地下) 3/1	鎌田区民センター、鎌田児童館、かふえいろどり、鎌田ケアセンター				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	鎌田前耕地地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	164,693	148,200	16,493	111
	物件費等	48,534	46,206	2,328	105
	物件費	48,349	46,080	2,269	
	うち光熱水費	3,665	4,528	▲ 863	
	うち委託料	30,675	29,071	1,604	
	うち土地建物設備賃借料	160	129	31	
	維持補修費	185	126	59	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	13,626	13,626	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	102,533	88,368	14,165	
	投資的経費	0	0	0	
	総収入	50	60	▲ 10	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	50	60	▲ 10	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	30,212千円	光熱水費	3,665千円(電気料 2,279千円)
----------	----------	------	----------------------

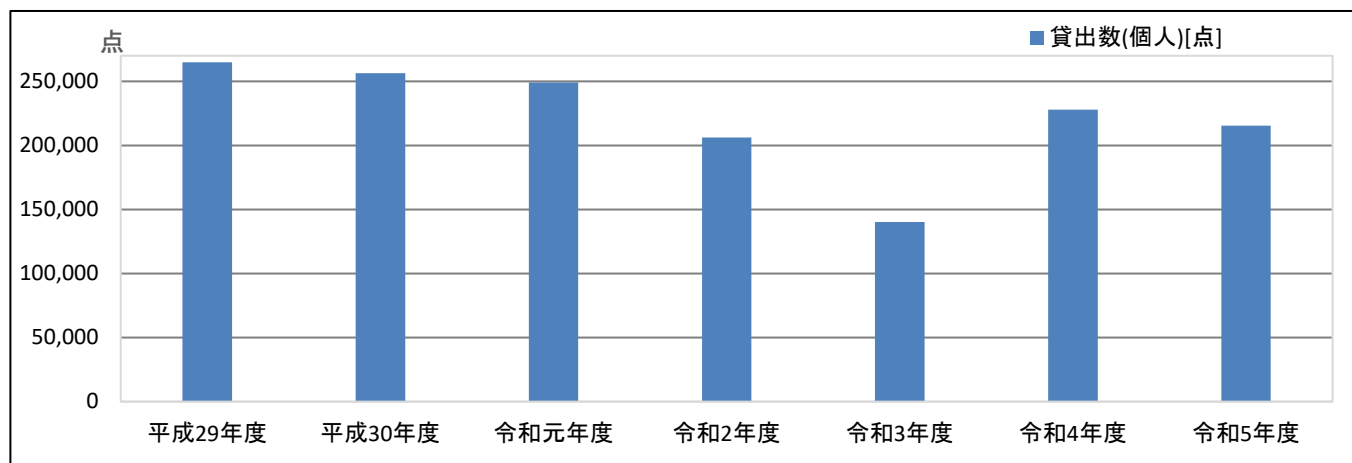
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

		10年間	築65年まで 〔令和45年〕
試算	計画改修費	0.0億円	5.2億円
	物件費等の積算額	4.7億円	18.9億円
	合計	4.7億円	24.1億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	264,963	256,473	249,195	206,130	140,262	228,004	215,446



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	215,446	356,430
m ² あたり総コスト	108.08	140.82
1点あたり総コスト	0.76	0.58
m ² あたり物件費等	31.85	64.47
1点あたり物件費等	0.23	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	-19.06	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは16,493千円増加

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・人件費増については職員数に大きな変化がないことから、鎌田図書館単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

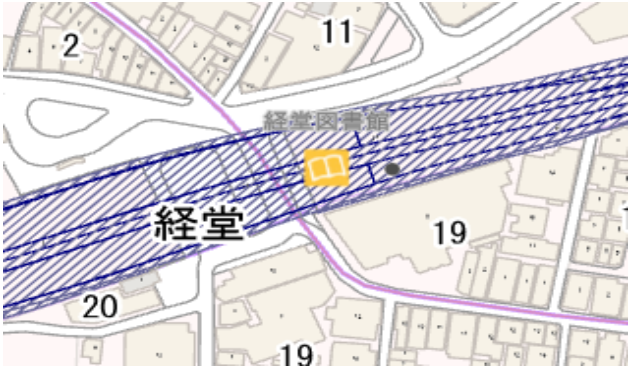
◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・光熱水費削減を維持できるよう、引き続き節電節水など省エネルギーに努める。
・座席数の確保等閲覧環境の整備に努める。

経堂図書館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 18年(18年)	656.13㎡		1,000.01㎡	656.13㎡	区所有	指定管理	(株)図書館流通センター
住所	構造	階数	複合施設名称				
宮坂3-1-30	S造	(地上/地下) 1/0	—				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、世田谷区立図書館を設置する		
小区分	図書館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
商業地域	80	500	—	防火地域	—
その他	経堂駅東地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	160,581	155,287	5,294	103
	物件費等	145,312	141,179	4,133	103
	物件費	145,312	140,686	4,626	
	うち光熱水費	0	0	0	
	うち委託料	134,625	130,919	3,706	
	うち土地建物設備賃借料	36	38	▲ 2	
	維持補修費	0	493	▲ 493	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	5,824	5,824	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	9,445	8,284	1,161	
	投資的経費	17,994	1,958	16,036	
	総収入	440	0	440	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	440	0	440	
建物情報	建物取得価額	215,711			
	建物減価償却累計額	99,011			
	建物残存価額	116,700			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

指定管理料	134,625千円
-------	-----------

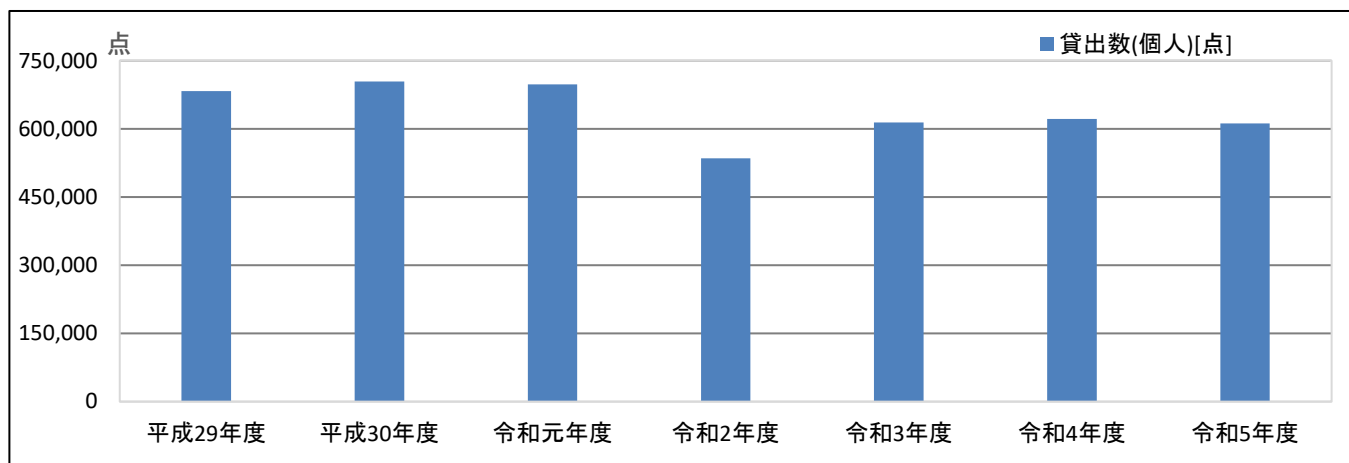
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

		10年間	築65年まで 〔令和53年〕
試算	計画改修費	1.0億円	2.0億円
	物件費等の積算額	14.3億円	68.8億円
	合計	15.3億円	70.8億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	683,497	704,653	697,713	535,610	614,402	621,892	612,287



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館)
貸出数(個人)	612,287	356,430
m ² あたり総コスト	244.74	140.82
1点あたり総コスト	0.26	0.58
m ² あたり物件費等	221.47	64.47
1点あたり物件費等	0.24	0.24
対前年増減率光熱水費(%)	0.00	—

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは5,294千円増加。

【施設間比較】

m²あたりの総コスト、物件費等共に図書館の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

- ・労働報酬下限額の改定により、委託料が増加した。
- ・空調設備改修工事を実施したため、投資的経費が増加した。
- ・他の施設と異なり、指定管理料の中の人件費分が物件費に含まれている。

【利用状況】

- ・平成29年度より、指定管理者制度による図書館運営を行っており、㈱図書館流通センターに委託している。
- ・小田急線経堂駅から徒歩1分の場所に立地し、区立図書館の中で最も来館者数が多い施設である。
- ・平成29年度から開館時間を拡大し、新たにビジネスコーナーを設けるなど、利便性の高い立地環境を活かした特色ある取り組みを行っている。
- ・指定管理者によるノウハウ等を生かした様々な地域連携事業を展開している。
- ・施設の専有面積が小さく、読書スペースに限りがある中で、閲覧席を増設するなど滞在型図書館の要素を取り入れた工夫を行っている。

【施設間比較】

- ・立地環境や開館時間の拡大、利用者数等に対して施設の専有面積が小さいため、同施設分類で比較するとm²あたりの総コスト及び物件費等が高くなっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取り組み

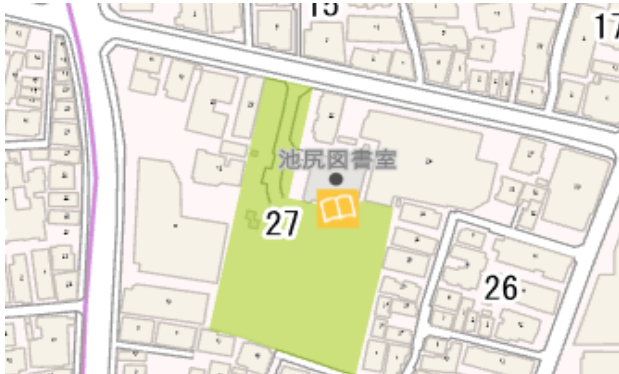
- ・引き続き、利用者の要望やニーズを的確に把握し、図書館サービスの充実に向けて取り組んでいく。
- ・立地環境や特色を活かしたビジネス等に関する資料収集のほか、地域連携事業の充実、館内環境の整備を図るなど、多世代が利用しやすい図書館運営に取り組んでいく。

池尻図書室

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 2年(34年)	229.06㎡		591.00㎡	1,248.83㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
池尻3-27-21	RC造	(地上/地下) 3/1	池尻まちづくりセンター、池尻区民集会所、池尻あんしんすこやかセンター				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区地域図書室運営要綱
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に世田谷区地域図書室運営要綱第2条の規定に基づき、世田谷区地域図書室を設置する		
小区分	図書室				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
近隣商業地域	80	300	28m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他	池尻三丁目西地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	40,077	38,212	1,865	105
	物件費等	9,388	10,091	▲ 703	93
	物件費	9,343	9,751	▲ 408	
	うち光熱水費	638	840	▲ 202	
	うち委託料	5,439	5,428	11	
	うち土地建物設備賃借料	44	0	44	
	維持補修費	45	340	▲ 295	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	1,956	1,956	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	28,733	26,165	2,568	
	投資的経費	38,564	4,014	34,550	
収入	総収入	0	0	0	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	5,037千円	光熱水費	638千円(電気料 421千円)
----------	---------	------	------------------

◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

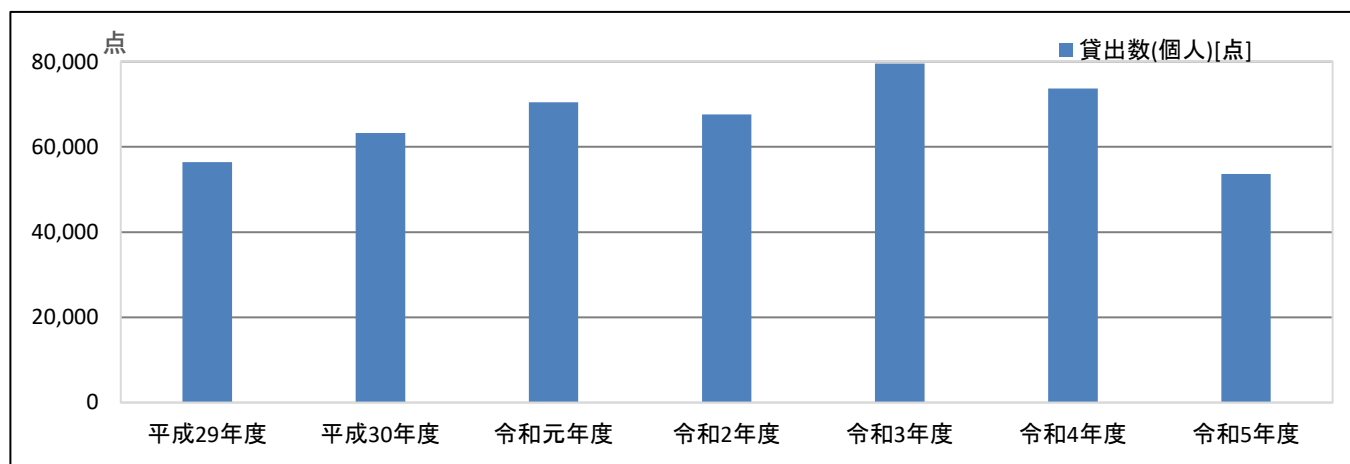
試算		10年間	築65年まで 〔令和37年〕
	計画改修費	0.0億円	1.0億円
	物件費等の積算額	1.0億円	3.1億円
	合計	1.0億円	4.1億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

※工事(休館またはカウンター業務のみ)(令和5年9月3日～12月28日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	56,447	63,257	70,505	67,634	79,591	73,680	53,642



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書室)
貸出数(個人)	53,642	85,476
m ² あたり総コスト	174.96	178.07
1点あたり総コスト	0.75	0.67
m ² あたり物件費等	40.98	40.18
1点あたり物件費等	0.18	0.16
対前年増減率光熱水費(%)	-24.05	—

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは1,865千円増加。

【利用状況】

貸出数が前年度の約7割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・人件費増については職員数に大きな変化がないことから、池尻図書室単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

【利用状況】

・建物の老朽化に伴う改修工事が令和5年9月から令和6年1月にあり、その期間、休館または予約本の貸出のみ等だったため、貸出数は一時的に減少している。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・令和5年度改修により、照明のLED化やトイレなどが新しくなった。隣に公園があり、休日は家族連れの利用もある。ほかの図書館とも距離が離れているため、地域の人の利用機会のために必要な拠点となっている。そのため明るく過ごしやすい施設にむけて、館内のディスプレイやレイアウト等工夫していく。
・書架が狭く、蔵書数も図書館と比べ少ないが、利用者のニーズにあった資料の収集をバランスよく進めていく。

希望丘図書室

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 2年(34年)	430.53㎡		1,149.00㎡	430.53㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
船橋7-8-4	RC造	(地上/地下) 4/0	—				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区地域図書室運営要綱
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に世田谷区地域図書室運営要綱第2条の規定に基づき、世田谷区地域図書室を設置する		
小区分	図書室				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	31m第二種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
第一種中高層住居専用地域	60	200	31m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	49,380	45,834	3,546	108
	物件費等	6,993	6,963	30	100
	物件費	6,634	6,656	▲ 22	
	うち光熱水費	1,233	1,345	▲ 112	
	うち委託料	947	1,012	▲ 65	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	121	69	52	
	扶助費・補助費等	238	238	0	
	減価償却費	4,274	4,274	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	38,113	34,597	3,516	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	0	0	0	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	213,703			
	建物減価償却累計額	145,318			
	建物残存価額	68,385			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

光熱水費 1,233千円(電気料 1,027千円)	警備業務委託 545千円
---------------------------	--------------

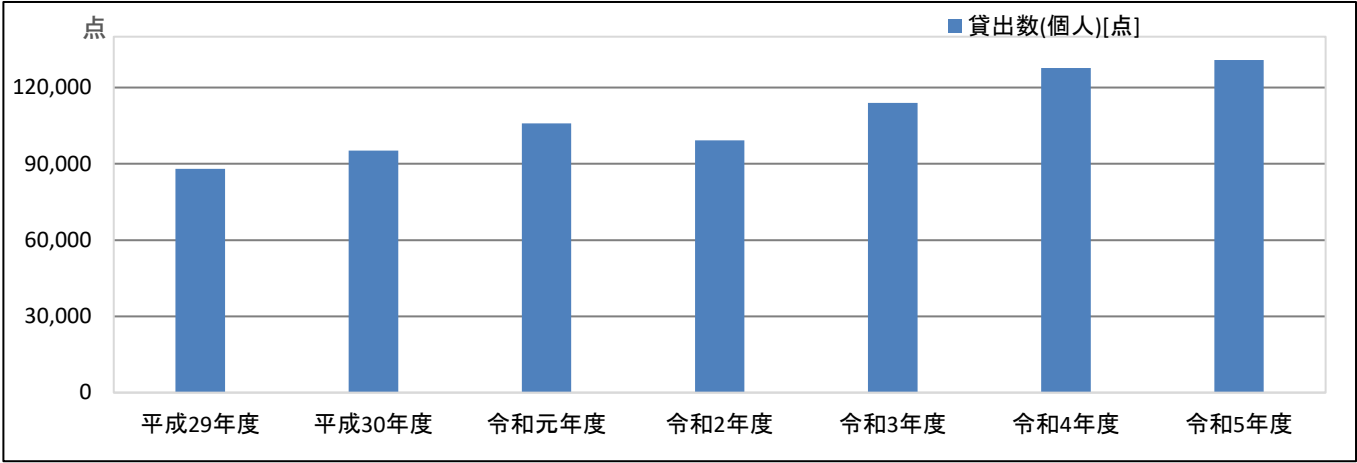
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和37年〕
	計画改修費	0.4億円
	物件費等の積算額	2.2億円
	合計	3.5億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	88,027	95,228	105,849	99,229	113,906	127,698	130,815



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書室)
貸出数(個人)	130,815	85,476
m ² あたり総コスト	114.70	178.07
1点あたり総コスト	0.38	0.67
m ² あたり物件費等	16.24	40.18
1点あたり物件費等	0.05	0.16
対前年増減率光熱水費(%)	-8.33	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは3,546千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・施設の老朽化が進行しており、毎年どこかしらに不具合が起これ修繕を行っている状況である。
・全庁的な増加に加え、子ども専用のコーナーができたため人員不足も課題となっていたが、会計年度任用職員の2名増の配置があり、人件費増加となった。

【利用状況】

・隣接地域に大規模マンションの建設がありスーパーマーケットも付帯施設ででき、その他にも建売住宅や老人ホームが近隣にできたため利用が増加している。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・トイレの老朽化が施設の中でも特に目立つので、改修工事ができればと考える。水栓の不調など毎年何かしらの修繕を行っている状態である。これ以外にも図書館利用者出入口の自動ドア化や図書室に面した道路の劣化破損などの計画的な工事にも必要と思われ、引き続き適正な施設管理に努める。
・区民集会所だった施設を行政財産の用途変更により、子ども室として活用している。このスペースさらに活かして子どもに対するサービスの充実に取り組んでいく。

野毛図書室

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和 39年(60年)	679.10㎡		1,105.90㎡	679.10㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
野毛2-15-19	RC造	(地上/地下) 2/2	—				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区地域図書室運営要綱
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に世田谷区地域図書室運営要綱第2条の規定に基づき、世田谷区地域図書室を設置する		
小区分	図書室				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	40	80	第一種高度地区	—	3h-2h 1.5m
その他	準・防火地区の指定なし(ただし、建築基準法22条指定区域)				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	40,469	38,833	1,636	104
	物件費等	12,014	11,974	40	100
	物件費	11,940	11,974	▲ 34	
	うち光熱水費	1,790	2,307	▲ 517	
	うち委託料	6,374	6,033	341	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	74	0	74	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	28,455	26,859	1,596	
	投資的経費	0	0	0	
	総収入	0	0	0	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	234,818			
	建物減価償却累計額	234,818			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託 6,374千円	光熱水費 1,790千円(水道料 1,565千円)
------------------	---------------------------

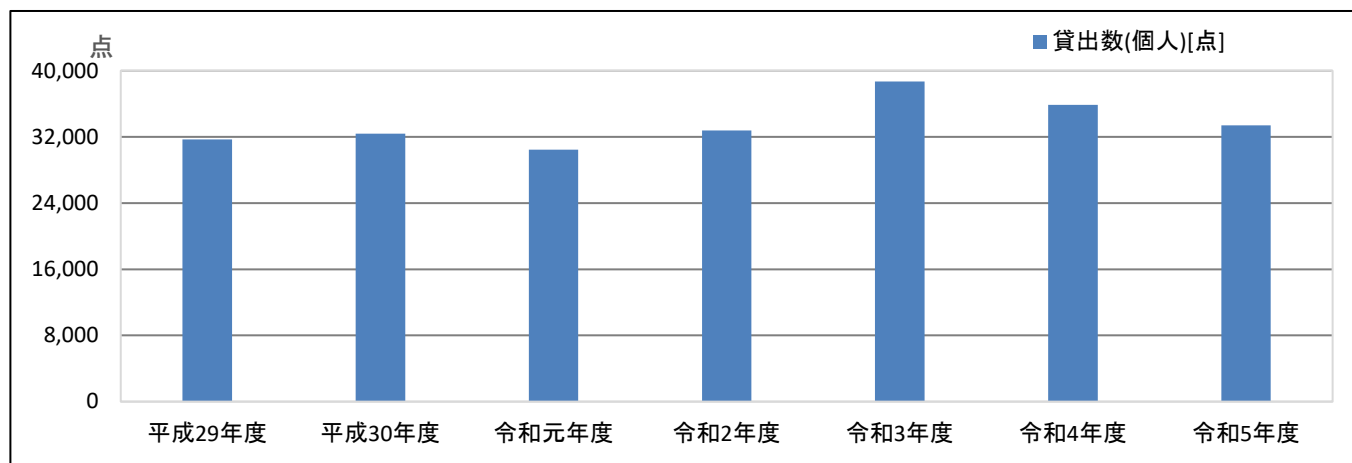
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

		10年間	築65年まで 〔令和11年〕
試算	計画改修費	—	0.0億円
	物件費等の積算額	—	0.7億円
	合計	—	0.7億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	31,705	32,399	30,468	32,790	38,698	35,891	33,418



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書室)
貸出数(個人)	33,418	85,476
m ² あたり総コスト	59.59	178.07
1点あたり総コスト	1.21	0.67
m ² あたり物件費等	17.69	40.18
1点あたり物件費等	0.36	0.16
対前年増減率光熱水費(%)	-22.41	—

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは1,636千円増加。

【施設間比較】

1点あたりの総コスト、物件費等共に図書室の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・人件費増については職員数に大きな変化がないことから、野毛図書室単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

【施設間比較】

・野毛図書室の利用者は尾山台駅近くにある尾山台図書館も利用している人が多く、立地的に図書室の中では貸出冊数や登録者数が少ないため、同施設分類で比較すると1点あたりの総コスト及び物件費等が割高になっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・立地的に利用者や貸出冊数の増加には困難な部分もあるが、併設されている野毛青少年交流センターの利用者層に合わせた図書の展示を行うなどして、特色ある図書館運営に取り組んでいく。
・引き続き、時勢に応じた蔵書の入れ替えを進め、魅力ある図書館となるよう取り組む。

松沢図書室

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 4年(32年)	259.66㎡		728.55㎡	1,710.51㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称				
赤堤5-31-5	RC造	(地上/地下) 3/2	松沢まちづくりセンター、松沢区民集会所、松沢あんしんすこやかセンター				



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区地域図書室運営要綱
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に世田谷区地域図書室運営要綱第2条の規定に基づき、世田谷区地域図書室を設置する		
小区分	図書室				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
近隣商業地域	80	300	第三種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	59,755	43,666	16,089	137
	物件費等	12,845	12,308	537	104
	物件費	12,471	12,145	326	
	うち光熱水費	687	948	▲ 261	
	うち委託料	8,234	7,863	371	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	374	163	211	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	4,317	4,317	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	42,593	27,041	15,552	
	投資的経費	3,188	1,711	1,477	
	総収入	0	0	0	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託	8,114千円	光熱水費	687千円(電気料 581千円)
----------	---------	------	------------------

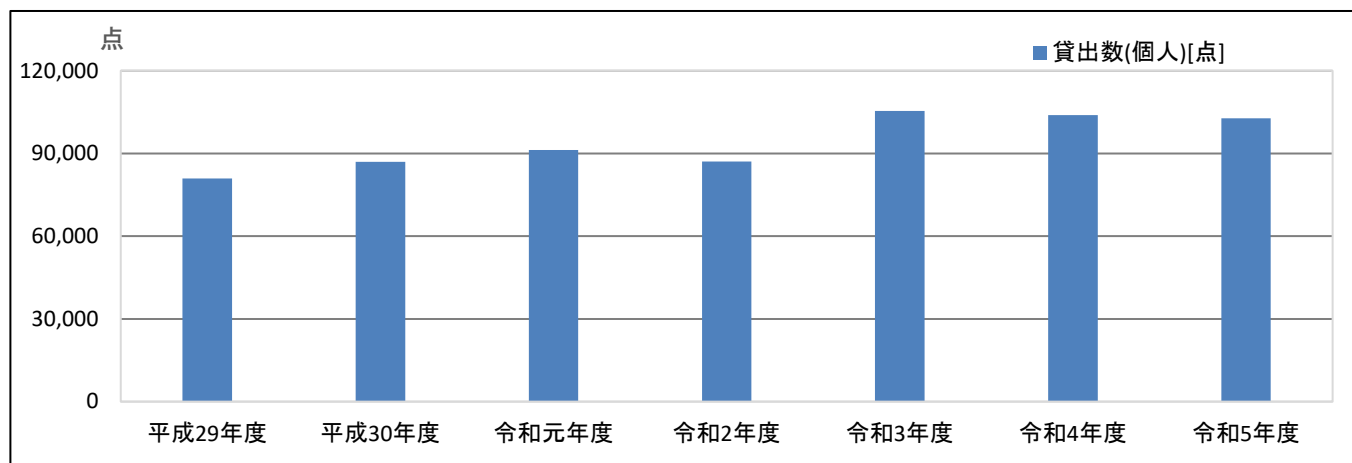
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		
	10年間	築65年まで 〔令和39年〕
	計画改修費	0.5億円
	物件費等の積算額	4.3億円
	合計	5.2億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	80,987	87,020	91,308	87,048	105,400	103,979	102,759



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書室)
貸出数(個人)	102,759	85,476
m ² あたり総コスト	230.13	178.07
1点あたり総コスト	0.58	0.67
m ² あたり物件費等	49.47	40.18
1点あたり物件費等	0.13	0.16
対前年増減率光熱水費(%)	-27.53	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは16,089千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・維持補修費については施設老朽化が原因、人件費増については職員数に大きな変化がないことから、松沢図書室単体の理由ではなく、全庁的な人件費増に伴うものと考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・令和9年度の中長期保全計画工事(予定)まで維持補修費がかかると予測されるが、引き続き適正な施設の維持管理に努める。
・今後も利用者が利用しやすい資料の配置などサービスの充実に取り組んでいく。
・光熱水費削減を維持できるよう、引き続き節電節水など省エネルギーに努める。

喜多見図書室

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 24年(12年)	140.83㎡	1,319.93㎡	1,228.44㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称			
喜多見5-11-10	RC造	(地上/地下) 3/0	喜多見あんしんすこやかセンター、喜多見まちづくりセンター、喜多見東地区会館			





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区地域図書室運営要綱
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に世田谷区地域図書室運営要綱第2条の規定に基づき、世田谷区地域図書室を設置する		
小区分	図書室				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
第二種中高層住居専用地域	60	200	25m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	世田谷区西部地域喜多見地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	43,792	40,982	2,810	107
	物件費等	10,778	10,689	89	101
	物件費	10,746	10,598	148	
	うち光熱水費	518	668	▲ 150	
	うち委託料	6,743	6,499	244	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	32	91	▲ 59	
	扶助費・補助費等	0	0	0	
	減価償却費	906	906	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	32,108	29,387	2,721	
	投資的経費	0	0	0	
	総収入	0	0	0	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

維持管理業務委託 6,642千円	光熱水費 518千円(電気料 424千円)
------------------	-----------------------

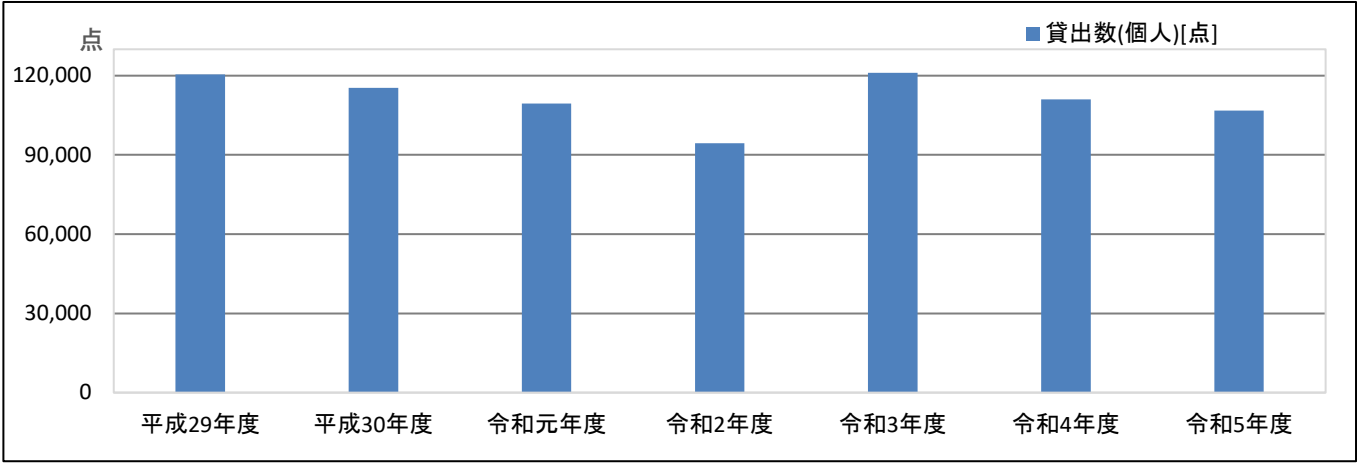
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

		10年間	築65年まで 〔令和59年〕
試算	計画改修費	0.2億円	0.9億円
	物件費等の積算額	1.1億円	5.8億円
	合計	1.3億円	6.7億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	120,447	115,407	109,480	94,370	121,064	111,055	106,744



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書室)
貸出数(個人)	106,744	85,476
m ² あたり総コスト	310.96	178.07
1点あたり総コスト	0.41	0.67
m ² あたり物件費等	76.53	40.18
1点あたり物件費等	0.10	0.16
対前年増減率光熱水費(%)	-22.46	-

◆ 施設の分析・考察

【行政コスト】

前年度より総コストは2,810千円増加。

【施設間比較】

m²あたりの総コスト、物件費等共に図書室の中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【行政コスト】

・総コスト増加の内訳はほぼ人件費であり、全庁的な増加に加え、会計年度任用職員の1名増加が影響していると考えられる。

【施設間比較】

・図書室の中で最も狭隘な施設(専有面積は他図書室の1/2～1/3程度)であるため、同施設分類で比較するとm²あたりの総コスト及び物件費等が割高になっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

- ・Wi-Fiが使用できる環境整備を行う。
- ・スツールを設置し着席して閲覧できる場所を確保するなどサービスの充実に取り組んでいく。

図書館カウンター二子玉川

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 27年(9年)	50.48㎡		—	50.48㎡	民間所有	委託	(株)図書館流通センター
住所	構造	階数	複合施設名称				
玉川1-14-1	SRC造	(地上/地下) 30/2	—				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区図書館カウンター運営要綱
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に世田谷区図書館カウンター運営要綱第2条の規定に基づき、世田谷区図書館カウンターを設置する		
小区分	図書室				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
近隣商業地域	80	400	—	防火地域	—
その他	二子玉川東地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	31,900	32,254	▲ 354	99
	物件費等	28,579	28,626	▲ 47	100
	物件費	27,596	27,391	205	
	うち光熱水費	0	0	0	
	うち委託料	24,794	24,783	11	
	うち土地建物設備賃借料	0	0	0	
	維持補修費	84	338	▲ 254	
	扶助費・補助費等	899	897	2	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	3,321	3,628	▲ 307	
	投資的経費	0	0	0	
収入	総収入	0	0	0	
	使用料・手数料	0		0	
	その他	0		0	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

業務委託 24,499千円

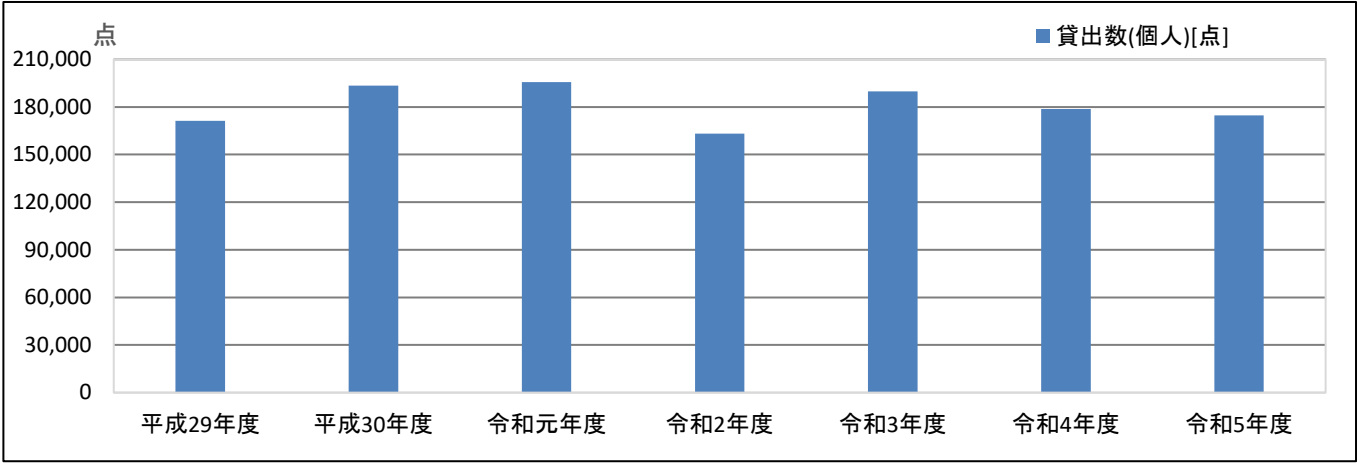
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		10年間	築65年まで 〔令和62年〕
	計画改修費	0.1億円	0.2億円
	物件費等の積算額	2.9億円	16.3億円
	合計	3.0億円	16.5億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	171,272	193,522	195,545	163,157	189,788	178,805	174,590



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館カウンター)
貸出数(個人)	174,590	504,177
m ² あたり総コスト	631.93	447.45
1点あたり総コスト	0.18	0.23
m ² あたり物件費等	566.15	419.27
1点あたり物件費等	0.16	0.22
対前年増減率光熱水費(%)	0.00	—

◆ 施設の分析・考察

【施設間比較】

m²あたりの総コスト、物件費等共に図書館カウンターの中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【施設間比較】

・施設の専有面積が小さいため、同施設分類で比較するとm²あたりの総コスト及び物件費等が割高になっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・デジタルサイネージや館内装飾の変更など広報PRを充実させ、区立図書館全体の利用促進を目指す。
・二子玉川公園ビジターセンターなどの近隣施設や団体と連携し、おはなし会などの子ども向け事業を実施する。

図書館カウンター三軒茶屋

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成 3年(33年)	185.11㎡		268.88㎡	872.42㎡	民間所有	委託	(株)図書館流通センター
住所	構造	階数	複合施設名称				
太子堂4-3-1	S造	(地上/地下) 5/1	せたがや若者サポートステーション、ぶらっとホーム世田谷、メルクマールせたがや				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区図書館カウンター運営要綱
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に世田谷区図書館カウンター運営要綱第2条の規定に基づき、世田谷区図書館カウンターを設置する		
小区分	図書室				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
商業地域	80	600	—	防火地域	—
その他	—				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	38,912	38,009	903	102
	物件費等	37,399	36,716	683	102
	物件費	36,574	35,788	786	
	うち光熱水費	0	0	0	
	うち委託料	22,947	22,947	0	
	うち土地建物設備賃借料	10,774	10,182	592	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	825	928	▲ 103	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	1,513	1,293	220	
	投資的経費	0		0	
収入	総収入	0	0	0	
	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

業務委託	22,630千円	建物賃借料	10,774千円
------	----------	-------	----------

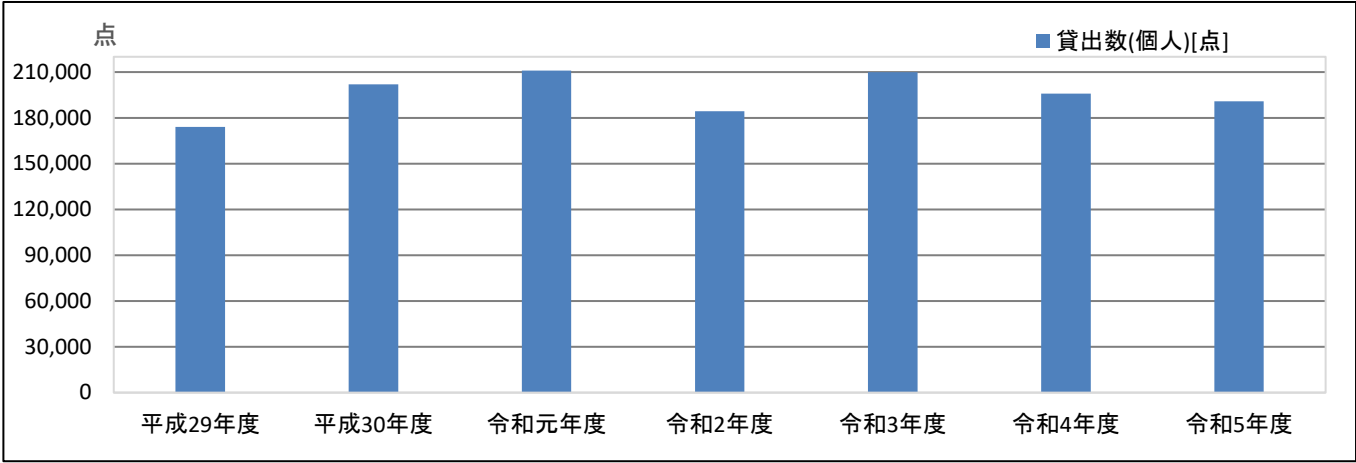
◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

試算		10年間	築65年まで 〔令和38年〕
	計画改修費	0.2億円	0.4億円
	物件費等の積算額	3.7億円	12.2億円
	合計	3.9億円	12.6億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]	174,002	201,913	210,941	184,423	209,959	195,925	190,948



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館カウンター)
貸出数(個人)	190,948	504,177
m ² あたり総コスト	210.20	447.45
1点あたり総コスト	0.20	0.23
m ² あたり物件費等	202.03	419.27
1点あたり物件費等	0.20	0.22
対前年増減率光熱水費(%)	0.00	—

◆ 施設の分析・考察

【利用状況】

貸出数が前々年度から減少傾向にある。(前々年度の約9割)

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【利用状況】

- ・R3年度の貸出量の高まりは、R2年度コロナ感染症自重からの反動とも解され、この傾向は区立図書館全体で概ね見られるものでもある。
- ・区立図書館施設の全体中でR5年度予約受付数は5番目にあり、資料1点あたりやm²あたりのコスパの高さを維持している。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

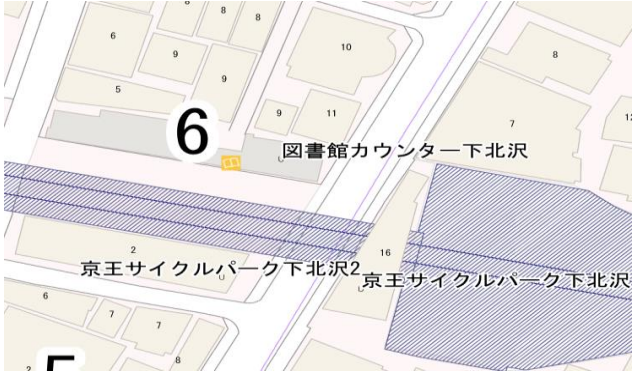
- ・読書ばなれの傾向については、課内全体で図書資料の充実により努めながら、広報啓発の工夫や電子書籍コンテンツ充実などを図り、組織全体での取組みが必要となる。また、関係領域・機関との有効な連携も不可欠であると考え。
- ・図書館カウンター三軒茶屋は狭隘な施設環境ではあるものの、立地環境の特性を十二分に生かすべき立場にある。今後とも利用者・区民の立場にたった改善工夫を図り、図書等の受け渡しだけでなく、魅力ある情報発信・提供のスポットとなるようフロア構成の工夫やデジタル広報の改善などにも取り組む予定である。また、近隣図書館との連携にも積極的に取り組んでいく。

図書館カウンター下北沢

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有面積		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
令和 4年(2年)	87.91㎡		367.90㎡	87.91㎡	民間所有	委託	(株)図書館流通センター
住所	構造	階数	複合施設名称				
北沢2-6-4	S造	(地上/地下) 2/0	—				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部中央図書館	設置根拠	世田谷区図書館カウンター運営要綱
中区分	図書館・図書室	設置目的	世田谷区に世田谷区図書館カウンター運営要綱第2条の規定に基づき、世田谷区図書館カウンターを設置する		
小区分	図書室				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
商業地域	80	500	—	防火地域	—
その他	下北沢駅周辺地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円) ※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和5年度	令和4年度	対前年度	対前年度[%]
費用	総コスト(投資的経費除く)	43,975	43,319	656	102
	物件費等	43,045	41,995	1,050	103
	物件費	42,431	41,426	1,005	
	うち光熱水費	0	0	0	
	うち委託料	29,377	28,428	949	
	うち土地建物設備賃借料	10,530	10,530	0	
	維持補修費	0	0	0	
	扶助費・補助費等	614	569	45	
	減価償却費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	(配賦)人件費	930	1,324	▲ 394	
	投資的経費	0	0	0	
	総収入	0	0	0	
収入	使用料・手数料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
建物情報	建物取得価額	—			
	建物減価償却累計額	—			
	建物残存価額	—			

◆ 令和5年度の物件費等の主な内訳

業務委託	27,819千円	建物賃借料	10,530千円
------	----------	-------	----------

◆ 将来想定経費 ※令和6年以降

		10年間	築65年まで 〔令和69年〕
試算	計画改修費	0.0億円	0.0億円
	物件費等の積算額	4.3億円	27.2億円
	合計	4.3億円	27.2億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況 ※「図書館カウンター下北沢」は令和4年3月30日に開設
※システム入替(全館休館)(令和6年1月4日～10日)

	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出数(個人)[点]		—	—	—	—	—	122,385	138,639



◆ 施設間比較

	令和5年度	施設間平均 (図書館カウンター)
貸出数(個人)	138,639	504,177
m ² あたり総コスト	500.22	447.45
1点あたり総コスト	0.32	0.23
m ² あたり物件費等	489.64	419.27
1点あたり物件費等	0.31	0.22
対前年増減率光熱水費(%)	0.00	—

◆ 施設の分析・考察

【施設間比較】

1点あたりの総コスト、物件費等共に図書館カウンターの中で最も高い。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

【利用状況】

・開館1～2年経過の時期で当初は充分に知られておらず貸出数も比較的少なかったが、徐々に周知され利用者が増加傾向にある。

【施設間比較】

・下北沢駅に近い商業地「ミカン下北」に立地する新しい物件に入居しているため、同施設分類で比較すると1点あたりの総コスト及び物件費等が割高になっていると考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

・令和6年度に清掃委託内容を見直し、コスト削減に努めた。今後も施設の良好な状態を維持するため、現状確認をこまめに行い問題箇所の把握・対応などを速やかに行う。
・利便性の高い立地を活かし、地域情報の提供など地域・近隣等との連携により情報提供スポットとしての魅力向上に取り組むとともに、可能な限りコスト削減に努める。